

第 5 1 2 回番組審議会報告

開催日 : 令和 4 年 11 月 30 日 (水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員
鈴木雅史 委員/水山和敬 委員/三浦真守 委員/齋藤義紀 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 取締役編成制作局長兼番組審議会事務局長

2. 報道関連 後藤 取締役報道局長

3. 合評番組

◇テレメンタリー2022「わたしの使命～希少がん闘病者からのエール～」

令和 4 年 11 月 13 日 (日) 26:00～26:30 放送

担当: 報道局 報道部 佐藤 彩加

◎その他

内容:

山形テレビの第 512 回番組審議会が開かれ、11 月 13 日に放送したテレメンタリー2022「わたしの使命～希少がん闘病者からのエール～」を合評しました。この番組は、最も治療が難しいがんとされる悪性脳腫瘍の一つ「膠芽腫」の患者、山形市の 50 代男性の闘病生活を追いました。山形大学と国立がんセンターが膠芽腫の新たな治療法の開発に乗り出したという YTS ゴジダスのニュースをきっかけに、男性から「自分の体験を取材に生かしてほしい、これからがんになる人に伝えてほしい」と申し出があり、その後、密着取材を積み重ねてきました。

委員からは

「希少がんについて、治療薬の開発事情について知らしめた番組の意義は大きいと思う。」

「男性患者の家族の表情や、ペットの猫の様子からの心情表現など一瞬を逃さないカメラワークが光っていた」

「ナレーションは事実を伝えようと、落ち着いて、丁寧で良かった」

「わたしの使命というタイトルだったが言葉だけで成り立ち、具体的なシーンがなかったので伝わりにく感じた」

「ドキュメンタリーは言葉より映像での表現だと思う。その意味では主要部分がインタビュー、言葉になっていて共感するには物足りなかった」

「番組中に出てきた服薬数の多さ、多額の治療費など受けとる側（視聴者）が不安を生じないよう表現を工夫すべき点があった。」

「この番組の継続取材、また様々な問題をテーマにドキュメンタリー制作への挑戦を続けてほしい」などの意見がだされました。

以上